

国際経営学部 国際経営学科(国際経営コース)

科目/学年	1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位	合計単位
教養科目	基礎ゼミ	導入演習(国際経営) 基礎演習(国際経営)	1 1						
	コア1 (学際科目)	大学史と別府大学	2	キャリア教育Ⅱ	1	インターンシップⅠ	2		
		キャリア教育Ⅰ	2	インターンシップ基礎	1	インターンシップⅡ	2		
	コア2 (人間と文化の探求)	哲学	2	世界農業遺産マネジメント演習	2				
		心理学Ⅰ	2	倫理学	2				
	コア3 (現代社会の多面的理解)	スポーツと健康	2						
		法学(日本国憲法)	2						
		国際文化論	2						
	コア4 (科学と情報)	国際関係論	2						
		数学基礎	2						
		情報リテラシー	2						
	コア5 (国際理解のための言語)	数理・データサイエンス入門	2						
		統計学	2						
		英語1	1	英語2	1	TOEIC5	1		
		英語2	1	英語3	1	TOEIC6	1		
	外書購読	中国語基礎1	1	中国語コミュニケーション1	1				
		中国語基礎2	1	中国語コミュニケーション2	1				
	外書購読1	1							
	外書購読2	1							
	小計	—	32	—	10	—	6	—	0
専門関連科目	時事英語	2							
	欧州事情	2							
小計	—	4	—	0	—	0	—	0	
学科専門科目	経営学の基礎	2	発展演習Ⅰ(国際経営)	1	専門演習Ⅰ(国際経営)	1	卒業演習Ⅰ(国際経営)	1	
	会計学の基礎	2	発展演習Ⅱ(国際経営)	1	発展演習Ⅱ(国際経営)	1	卒業演習Ⅱ(国際経営)	1	
	観光・地域経営の基礎	2	マーケティング論	2	国際マーケティング論	2			
	情報科学概論	2	経営管理論	2	多国籍企業論	2			
	簿記Ⅰ	2	経営組織論	2	リスクマネジメント	2			
			経営戦略論	2	企業論	2			
			ミクロ経済学	2	中小企業論	2			
			マクロ経済学	2	銀行論	2			
			国際経済概論	2	ファイナンス論	2			
			国際経営論	2	貿易論	2			
			経営分析	2	国際金融	2			
			アジア経営	2	国際会計論	2			
			英語経営	2	情報社会論	2			
			中国語経営	2	経営意思決定論	2			
			韓国語経営	2					
			国際コミュニケーション	2					
			リーダーシップ論	2					
	小計	—	10	—	32	—	26	—	6
合計	—	46	—	42	—	32	—	16	124
主要科目1	科目名	経営学の基礎	経営組織論	国際マーケティング論	卒業演習Ⅰ(国際経営)				
	特徴	様々な事例から、「良い企業(組織)とはどのような企業(組織)なのか?」について考え、組織運営に関する理論、人材マネジメントなどを学ぶことにつながることで、理解を深めるための基礎理論や事例を取り上げて学びます。	基礎的な「組織」の知識・理論を学びます。 ・フィールドワーク等の学生の能動的な学修への参加を取り入れた学外授業の実施・準備・事後学習においてアクティブラーニング型の授業を行います。	時代とともに変化する顧客に応える目標販売戦略を編成するための市場調査その方法製品計画生産計画の立て方について言及し、とくに市場における需要を顕在化させるために、どのように市場に接近し、市場と対話するかを考えます。	学生一人ひとりが興味のあるテーマを取り上げ、それについて、調査・報告・議論を行いながら、卒業論文を作成していきます。				
目的	・経営学の基礎を学ぶことで、経営学の概略をイメージできること。 ・経済・経営系の雑誌や新聞の経済欄を理解し、読むことができること。	・組織に関する基礎的な知識を修得します。 ・企業動向や問題点を理解するための観点を獲得します。	・「国際マーケティング、グローバルマーケティング」全般に関する基礎的な専門知識の習得することができると。 ・企業の「活動」に関する諸問題やその解決策を自ら調べることができる。	授業での議論や討論を参考にしながら、報告・発表用に作成した資料を文章としてまとめる能力の修得を目標とします。					
主要科目2	科目名	会計学の基礎	国際コミュニケーション	経営意思決定論	卒業論文				
	特徴	会計学とは何か、会計学が現在なぜ必要なのかを学んでいく。特に、計数的な意味を理解することが重要なため、「簿記」を修得することに重点を置く。	世界の社会・文化を知るために、現在起きている事例を紹介し、それについて議論し、考えていく機会を持ちます。	人・モノ・金・情報などの企業の経営資源を効果的に経営成果に結びつけるための統合的なシステム設計を行う。そのシステムから得られる結果を評価するために、工学的なアプローチと共に数学や社会科学の専門知識などを用いる。	学生一人ひとりが興味のあるテーマを取り上げ、それについて、調査・報告・議論を行いながら、卒業論文を作成していきます。				
目的	会計の機能、利益計算の方法、会計原則と会計基準、国際財務報告基準、貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー計算書など、会計学の基礎知識を身に付ける。	グローバル社会に突入した現在、世界の情勢を知り、それらの実態を見極める力を養います。	経営工学の概要を理解し、システム設計・評価に関わる科学的なアプローチの習得を目指す。	アカデミックな文章作成能力を修得するとともに、客観的かつエビデンスに基づいて議論や考察できる能力の修得を目指します。					

国際経営学部 国際経営学科(会計・税理士コース)

科目/学年	1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位	合計単位	
教養科目	基礎ゼミ	導入演習(国際経営)	1							
		基礎演習(国際経営)	1							
	コア1	キャリア教育 I	2	インターンシップ基礎	1	インターンシップ I	1			
		大学史と別府大学	2	キャリア教育 II	2					
	コア2	哲学	2	倫理学	2					
		心理学 I	2							
	コア3	スポーツと健康	2							
		法学(日本国憲法)	2							
		国際文化論	2							
	コア4	国際関係論	2							
		数学基礎	2							
		情報リテラシー	2							
		数理・データサイエンス入門	2							
	コア5	統計学	2							
		英語 1	1	英語3	1					
英語2		1	英語4	1						
韓国(中国)語基礎1		1								
外書講読	韓国(中国)語基礎2	1								
		1	外書講読1	1						
小計	—	32	—	8	—	1	—	0		
専門関連科目			英文法1	2			地方行政論	2		
	小計	—	0	—	2	—	—	—	2	
専門科目	学科専門科目	経営学の基礎	2	発展演習 I(国際経営)	1	専門演習 I(国際経営)	1	卒業演習 I(国際経営)	1	
		会計学の基礎	2	発展演習 II(国際経営)	1	発展演習 II(国際経営)	1	卒業演習 II(国際経営)	1	
		情報科学概論	2	マクロ経済学	2	国際マーケティング概論	2	ファイナンス論	2	
		観光・地域経営の基礎	2	国際経済概論	2	国際経営概論	2			
				マーケティング論	2	リスクマネジメント	2			
				経営組織論	2	企業論	2			
				経営管理論	2	国際金融	2			
				商業概論	2	国際会計論	2			
				経営分析	2	情報社会論	2			
		簿記 I	2	経営戦略論	2	財務諸表論	2			
		簿記キャリアアップ I	2			税法概論	2			
						管理会計	2			
				会計学	2	経営法務	2			
				簿記 II	2	財務会計	2			
				簿記キャリアアップ II	1	監査論	2			
				原簿計算	2	国際コミュニケーション	2			
				財務会計	2					
								卒業論文	6	
		小計	—	12	—	27	—	30	—	10
		合計	—	44	—	37	—	31	—	12
主要科目1	科目名	会計学の基礎	会計学	管理会計	卒業演習 I・II(国際経営)					
	特徴	会計学の基礎的理論を世界経済の流れを踏まえながら学習します。	我が国の会計基準および国際財務報告基準(IFRS)の理論体系を学習します。	管理会計の各種理論と計算技法を実践的に学習します。	ゼミ担当教授の指導を受けながら、卒業論文を作成します。					
主要科目2	科目名	簿記 I・II	財務会計	税務会計	卒業論文					
	特徴	企業の経済活動を記録・計算し、財務諸表で報告する技術をマスターします。	財務諸表の作成・理解を主体に理論・実践面から学習します。	法人税法の規定を理論と計算の両面から実践的に学習します。	ゼミ担当教授の指導を受けながら、卒業論文を作成します。					
	目的	日商簿記検定試験3・2・1級の合格を目指します。	財務諸表を作成し、その内容の理論的解釈方法を習得します。	法人税法の規定による課税所得と納税額の計算構造を習得します。	4年間の大学での学習の成果を卒業論文としてまとめます。					

国際経営学部 国際経営学科(観光・地域経営コース)

科目/学年	1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位	合計単位
教養科目	基礎ゼミ	導入演習(国際経営)	1						
		基礎演習(国際経営)	1						
	学際科目	大学史と別府大学	2	インターンシップ I	1	キャリア教育 II	2		
		温泉学概論	2						
		キャリア教育 I	2						
	コア1	世界文化史	2						
		心理学 I	2						
		スポーツと健康	2						
	コア2	法学(日本国憲法)	2						
		国際文化論1	2						
		国際関係論	2						
	コア3	数学基礎	2						
	コア4	情報リテラシー I	2						
	コア5	統計学	2						
		英語1	1	英語2	1				
		英語2	1	英語3	1				
		韓国語基礎1	1	韓国語コミュニケーション1	1				
韓国語基礎2		1	韓国語コミュニケーション2	1					
外書講読			外書講読1	1	外書講読3	1			
			外書講読2	1					
小計	—	32	—	6	—	2	—	0	
専門科目	専門関連科目	英文法1	2						
		世界史概論(西洋史)	2						
		世界史概論(東洋史)	2						
	小計	—	6	—	0	—	0	—	0
	学専科目	経営学の基礎	2	発展演習 I(国際経営)	1	専門演習 I(国際経営)	1	卒業演習 I(国際経営)	1
		会計学の基礎	2	発展演習 II(国際経営)	1	発展演習 II(国際経営)	1	卒業演習 II(国際経営)	1
		観光・地域経営の基礎	2	マクロ経済学	2	国際マーケティング概論	2		
		情報科学概論	2	国際経済概論	2	銀行論	2		
		地域創生プロジェクト1	2	国際コミュニケーション	2	リスクマネジメント	2		
		地理学の基礎	2	地域社会連携PBL1,2,3	1,2,4	現代企業経営論	2		
				商業概論	2	地域経営論	2		
				観光ビジネス論	2	観光産業論	2		
				観光資源論	2	農業政策	2		
				観光サービス論	2	地域ブランド論	2		
				文化観光論	2	情報社会論	2		
				観光と経済	2	ソフトウェア利用論	2		
				食料流通システム	2	観光地理 観光と地域	2		
				経営分析	2	中小企業論	2		
				簿記 I	1	地域創生プロジェクト4	2		
				簿記 II	1	地域創生プロジェクト5	2		
				地域創生プロジェクト2	2			卒業論文	6
				地域創生プロジェクト3	2				
		小計	—	6	—	28	—	28	—
合計	—	44	—	34	—	30	—	16	
主要科目1	科目名	観光・地域経営の基礎	観光ビジネス論	観光と地域	卒業演習 I・II(国際経営)				
	特徴	別府市や大分県という地域を観光、エネルギー、地元企業の経営、情報などの観点から学んでいきます。	旅行業や宿泊業、観光交通、飲食業など観光に関連する観光サービス産業の役割、特徴、需要変動対策について学びます。	観光地とは、人がある空間に特定の価値を付けることにより形成されます。その観光地(空間)に対してどのような分析がなされてきたのかを紐解きます。さらに「人は何故観光(旅)をするのか」についてどのように考えられてきたのか、についても考察していきます。	ゼミ担当教授の指導を受けながら、卒業論文を作成します。				
主要科目2	科目名	経営学の基礎	地域創生プロジェクト2・3	情報社会論	卒業論文				
主要科目2	特徴	経営学は企業が直面する問題の解決を目指す学問として発展してきましたように、企業の様々な側面を考察する学問です。そこで、企業は誰のものなのか、経営者とそこで働く人々との関係などを学習し、企業とはどのようなものか学びます。	今日全国各地で「まちおこし」「地域活性化」の取り組みが行われています。しかし多くの地域では必ずしも上手くいっているわけではありません。これらの事例を検討しうえて大分県における地域創生に関わる課題を自ら見出すスキルを磨いていきます。	各自がパソコンで調べたことや、各自のアイデアなどをEラーニングシステム上の掲示板に投稿し、その投稿を題材にして授業を進めていきます。手を動かし、情報やアイデアを共有しながら自主的に学んでいきます。	ゼミ担当教授の指導を受けながら、卒業論文を作成します。				
	目的	企業というものを理解したうえで、観光業界について更に深く考察する基礎的な資質を身につけることを目的とします。	現地調査を書けながら自ら見出した課題についてその発要因、現状、地域社会の対応、解決への糸口、解決に立ち及ぶ課題などを自ら体現して「実践力」を身につけることを目的とします。	パソコンを使って、最新の動向を調べることができるようになる。IoT、ビッグデータ、人工知能など最新のIT技術についての知識を学び、それらが地域社会や企業経営などの各分野に与える影響や、それらを活用するアイデアを考察できるようになる。	4年間の大学での学習の成果を卒業論文としてまとめます。				